

〈令和7年度 インターンシップ参加学生へ質問〉

○自己紹介をお願いします。

私は、長崎大学環境科学部3年の玉城匠之助です。将来は、市役所の職員になりたいと考えており、雲仙市役所のインターンシップに参加させていただきました。

○インターンシップのきっかけはなんですか？

私は、自然と住民が近接した地域における地域の活性化や地域資源の活用方法について興味を持っており、また、将来希望する職業が公務員であったため、農業が盛んな雲仙市役所でのインターンシップを希望しました。

○インターンシップの内容はどのようなものでしたか？

窓口業務や新エネルギー推進業務、農地有効活用業務など、それぞれの部署での多様な業務を体験させていただきました。

1日目	午前	オリエンテーション、雲仙市の概要説明、雲仙市役所業務内容説明
	午後	雲仙市内視察
2日目	午前	国見総合支所での窓口業務補助
	午後	国見総合支所での窓口業務補助
3日目	午前	環境政策課の業務補助
	午後	環境政策課の業務補助
4日目	午前	農林課の業務補助
	午後	農林課の業務補助
5日目	午前	ホームページに掲載する記事の作成(インターンシップ関連)
	午後	採用試験サイトのブログ作成

○どのような体験をしましたか？

国見総合支所では、住民票や戸籍の登録、損傷した道路・河川の視察など、環境政策課では家庭廃棄物の収集支援事業といった地域住民に寄り添った業務から、地熱などを活用した新エネルギー推進業務などを体験することができました。また、農林課では、雲仙市における農業の現状、課題とされる放棄地の有効活用に関する取り組みについて、実地で体験することができました。

○インターンシップを通して学んだことはなんですか？

五日間の研修を通して、雲仙市役所における様々な部署での業務内容について、学ばせていただいただけでなく、公務員として職務に従事する上で求められる心構えや使命、留意すべ

き点について、また、地域課題に対する問題把握力と解決に向けた問題解決力の重要性を各部署の方々のお話を通して学び、理解を深めることができました。これらは、社会人として必要不可欠な力だと考えるので、今後も学業やボランティア活動、バイト活動を通して磨き続け、今後のキャリアに活かしたいと考えています。